

イヌ・ネコの病気って どんなものがあるの？



イヌ・ネコはヒトと同じように病気にかかります。

イヌの狂犬病はヒトを含む全ての哺乳類に感染し、世界各地で年間6万人が死亡している恐ろしい病気です。有効な治療法がなく発症するとほぼ100%死亡します。日本では狂犬病予防接種が義務付けられているため、最近の発生事例はありません。狂犬病は予防接種で防げる病気なので、毎年必ず受けましょう。

ネコの場合、ネコエイズ・ネコ白血病という病気があります。どちらも免疫不全なる病気で、有効な治療法がありません。ヒトには感染しませんが、喧嘩による傷口からの感染が主な原因のため野良ネコに多い病気です。そのため、ネコを室内で飼うことが一番の予防になります。

大切なペットを守るため、狂犬病やワクチンの予防接種、室内飼いを行うなど、飼い主の対策はとても重要です。

シャマル

(兼本ハイツ在住)
◆趣味
ロボット掃除機と
喧嘩

7



ハリー・モカ

(与那覇在住)
◆おすすめのお店
ペットプラス南風原店

8



ずっと一緒に だよ

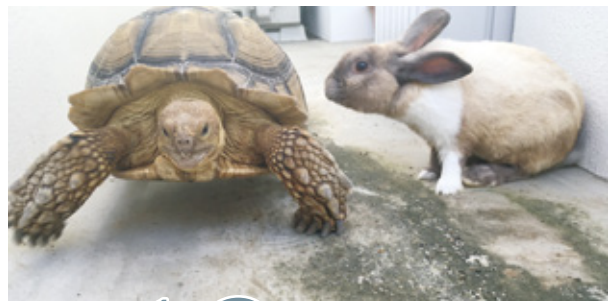
10

ゴマ
(津嘉山在住)



9

けんた
(兼城在住)
◆散歩コース
中学校の近辺



12

アバルトとギン
(兼本ハイツ在住)
◆趣味 甲羅干し・ベニヤかじり

沢山の応募ありがとう!!

アボ

(与那覇在住)

11



ペットと一緒に暮らす上で重要になるのが「避妊・去勢手術」です。避妊・去勢手術をしていないと、普段おとなしいペットでも発情期にパートナーを求めて脱走することがあります。その結果、迷子になったり、興奮して事故やケガをしたり、想定外の妊娠につながってしまいます。

またイヌの場合、避妊手術をしていないと子宮に膿がたまる病気「子宮蓄膿症」になることがあります。子宮は外からは見えないため、発見した頃には重症化し手術費が高額になることも…。避妊・去勢手術をすることは、病気のリスクを下げ、ペットと飼い主が安心・安全に暮らすことにつながるとても重要なことです。

その他、
重要なことは？



南風原町で飼われているイヌは
何頭いるの？



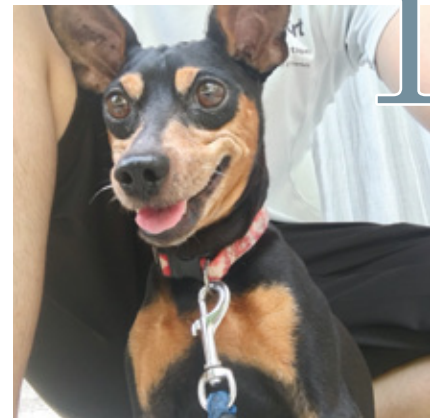
1,248頭

(令和2年7月末登録数)

13世帯に1世帯が飼っている計算になります。

ペットを飼うには??

ペットを飼うには①ペットショップで購入する、②愛護センターや保護団体から譲り受ける方法があります。



1 モルツ

(本部在住)
◆散歩コース
本部かすりロード



2 シロ

(兼城在住)
◆散歩コース
新川公園



4

イヴ (津嘉山在住)



3

キキ
(喜屋武在住)



5 にいむ

(兼城在住)
◆趣味
パトロール

nico
(兼城在住)



6

“最後まで一緒に居てね”

近年、医療やフード(食事)の改良に伴いペット達の平均寿命は延びています。ペットを飼い始める前に、飼い主自身が責任を持って大切な家族を終期まで見届けられる計画を立てて飼いましょう。

平均寿命ってどれくらい??

ハムスター:2~3年程度
ウサギ:5~15年程度
イヌ:12~20年程度

ネコ:15~20年程度
リクガメ:100年以上

